

2019年11月14日

上場会社名 株式会社アルファ

上場取引所 東

コード番号 3434 URL <https://www.kk-alpha.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川名 祥之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 斉藤 雄一

TEL 045-787-8401

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け個別ミーティング有)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第2四半期 | 30,349 | 5.6 | 1,124 | 23.6 | 1,122 | 22.6 | 814 | 30.0 |
| 2019年3月期第2四半期 | 28,740 | 1.1 | 1,471 | 8.8 | 1,450 | 15.6 | 1,163 | 2.2 |

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 338百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 17百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第2四半期 | 85.24 | |
| 2019年3月期第2四半期 | 121.77 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年3月期第2四半期 | 58,081 | 28,812 | 47.6 | 2,892.14 |
| 2019年3月期 | 55,679 | 28,315 | 49.5 | 2,883.53 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 27,627百万円 2019年3月期 27,544百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | | 15.00 | | 25.00 | 40.00 |
| 2020年3月期 | | 15.00 | | | |
| 2020年3月期(予想) | | | | 25.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 63,000 | 4.4 | 3,150 | 2.0 | 3,150 | 4.3 | 2,150 | 0.5 | 225.07 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規1社 (社名)ALPHA ADVANCED AUTOMOTIVE PARTS CO., LTD.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|--------------|----------|--------------|
| 2020年3月期2Q | 10,200,000 株 | 2019年3月期 | 10,200,000 株 |
|------------|--------------|----------|--------------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|-----------|----------|-----------|
| 2020年3月期2Q | 647,478 株 | 2019年3月期 | 647,478 株 |
|------------|-----------|----------|-----------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2020年3月期2Q | 9,552,522 株 | 2019年3月期2Q | 9,552,523 株 |
|------------|-------------|------------|-------------|

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記) | 9 |
| (会計方針の変更) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は303億49百万円と前年同四半期に比べ、16億9百万円（5.6%）の増収となりました。利益につきましては、営業利益は11億24百万円と前年同四半期に比べ、3億47百万円（△23.6%）の減益となりました。経常利益は11億22百万円と前年同四半期に比べ、3億27百万円（△22.6%）の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は8億14百万円と前年同四半期に比べ、3億48百万円（△30.0%）の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しており、以下の前年同期間との比較については、前年同期間の数値を変更後の利益又は損失の算定方法により組替えた数値で比較しております。報告セグメントの算定方法の変更の詳細につきましては「2 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等） セグメント情報」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

① 自動車部品事業（日本）

自動車部品事業（日本）におきましては、主要得意先の生産台数が減少したこと等により、売上高は46億64百万円と前年同四半期に比べ、10億43百万円（△18.3%）の減収、セグメント損失は42百万円（前年同四半期はセグメント利益1億94百万円）となりました。

② 自動車部品事業（北米）

自動車部品事業（北米）におきましては、新規得意先の売上増加等により、売上高は71億41百万円と前年同四半期に比べ、1億74百万円（2.5%）の増収となりましたが、材料費の増加等により、セグメント利益は3億78百万円と前年同四半期に比べ、1億21百万円（△24.3%）の減益となりました。

③ 自動車部品事業（アジア）

自動車部品事業（アジア）におきましては、主要得意先の生産台数が減少したこと等により、売上高は95億19百万円と前年同四半期に比べ、6億69百万円（△6.6%）の減収、セグメント利益は4億29百万円と前年同四半期に比べ、60百万円（△12.3%）の減益となりました。

④ 自動車部品事業（欧州）

自動車部品事業（欧州）におきましては、連結子会社の増加等により、売上高は60億69百万円と前年同四半期に比べ、23億53百万円（63.3%）の増収となりましたが、新製品立ち上げ費用の増加等により、セグメント損失は21百万円（前年同四半期はセグメント利益14百万円）となりました。

⑤ セキュリティ機器事業（日本）

セキュリティ機器事業（日本）におきましては、賃貸住宅向けは、金融庁による融資の監視強化や相続税対策による需要が一巡した事により着工数が大きく減少し、販売への影響を受けました。一方、戸建て向けは、消費税増税前の駆け込み需要による着工数の増加や電気錠の採用率の上昇により販売が好調に推移しました。さらに、新製品ターミナルロッカーAISの販売も順調に推移しました。この結果、売上高は45億2百万円と前年同四半期に比べ、2億15百万円（5.0%）の増収、セグメント利益は6億16百万円と前年同四半期に比べ、99百万円（19.2%）の増益となりました。

⑥ セキュリティ機器事業（海外）

セキュリティ機器事業（海外）におきましては、日本向け製品の生産増により、売上高は23億3百万円と前年同四半期に比べ、1億15百万円（5.3%）の増収、セグメント利益は1億90百万円と前年同四半期に比べ、29百万円（18.5%）の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は580億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ、24億1百万円の増加となりました。また、有利子負債は前連結会計年度末に比べ、20億94百万円増加し、163億32百万円となりました。

流動資産は、その他流動資産が2億37百万円増加し、現金及び預金が4億94百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が7億66百万円減少したこと等により、2億円減少し、298億10百万円となりました。

固定資産は、投資その他の資産のその他が2億64百万円減少し、投資有価証券が2億17百万円減少しましたが、有形固定資産のその他（純額）が17億65百万円増加したこと等により、26億円増加し、282億51百万円となりました。

流動負債は、短期借入金が8億42百万円減少したことや、賞与引当金が1億29百万円減少したこと等により、11億39百万円減少し、180億4百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が19億71百万円増加したことや、リース債務が8億61百万円増加したこと等により、30億44百万円増加し、112億64百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が1億65百万円減少、為替換算調整勘定が3億27百万円減少しましたが、利益剰余金が5億75百万円増加したことにより、4億96百万円増加し、288億12百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末の49.5%から1.9ポイント減少し、47.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローが19億4百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが12億41百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが83百万円の支出となりました。

以上の結果、換算差額を含めた当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べ1億43百万円増加し、81億49百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

売上債権の増減額が6億94百万円増加しましたが、仕入債務の増減額が3億16百万円減少したこと等により、当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ、2億15百万円収入が減少し、19億4百万円の収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資有価証券の売却による収入が4億20百万円減少したことや、保険積立金の解約による収入が3億97百万円減少したこと等により、当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ、10億12百万円支出が増加し、12億41百万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

短期借入金による増減額が13億90百万円減少しましたが、長期借入れによる収入が22億13百万円増加したこと等により、当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ、3億87百万円支出が減少し、83百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,744 | 8,238 |
| 受取手形及び売掛金 | 12,641 | 11,874 |
| 商品及び製品 | 2,295 | 2,161 |
| 仕掛品 | 873 | 957 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,360 | 4,390 |
| その他 | 2,163 | 2,400 |
| 貸倒引当金 | △68 | △213 |
| 流動資産合計 | 30,010 | 29,810 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 4,592 | 4,863 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 6,362 | 6,730 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 1,922 | 2,196 |
| 土地 | 1,590 | 1,591 |
| その他（純額） | 3,117 | 4,882 |
| 有形固定資産合計 | 17,584 | 20,264 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,855 | 1,879 |
| その他 | 1,486 | 1,866 |
| 無形固定資産合計 | 3,342 | 3,746 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,674 | 3,457 |
| その他 | 1,048 | 784 |
| 投資その他の資産合計 | 4,723 | 4,241 |
| 固定資産合計 | 25,650 | 28,251 |
| 繰延資産 | 18 | 19 |
| 資産合計 | 55,679 | 58,081 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,498 | 6,952 |
| 短期借入金 | 5,814 | 4,971 |
| 未払法人税等 | 450 | 400 |
| 賞与引当金 | 609 | 479 |
| 製品保証引当金 | 380 | 335 |
| その他 | 4,391 | 4,864 |
| 流動負債合計 | 19,143 | 18,004 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 1,095 | 1,230 |
| 長期借入金 | 5,107 | 7,079 |
| 退職給付に係る負債 | 168 | 171 |
| 資産除去債務 | 42 | 42 |
| リース債務 | 933 | 1,794 |
| その他 | 873 | 946 |
| 固定負債合計 | 8,220 | 11,264 |
| 負債合計 | 27,364 | 29,269 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,760 | 2,760 |
| 資本剰余金 | 2,952 | 2,952 |
| 利益剰余金 | 19,541 | 20,117 |
| 自己株式 | △578 | △578 |
| 株主資本合計 | 24,675 | 25,251 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,062 | 1,897 |
| 為替換算調整勘定 | 806 | 478 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,869 | 2,376 |
| 非支配株主持分 | 770 | 1,184 |
| 純資産合計 | 28,315 | 28,812 |
| 負債純資産合計 | 55,679 | 58,081 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 28,740 | 30,349 |
| 売上原価 | 23,772 | 24,860 |
| 売上総利益 | 4,967 | 5,489 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,496 | 4,364 |
| 営業利益 | 1,471 | 1,124 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 31 | 39 |
| 受取配当金 | 63 | 51 |
| 不動産賃貸料 | 10 | 10 |
| 助成金収入 | 56 | 16 |
| その他 | 50 | 69 |
| 営業外収益合計 | 212 | 188 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 76 | 99 |
| 支払報酬 | 9 | 1 |
| 保険解約損 | 62 | — |
| 為替差損 | 66 | 65 |
| その他 | 19 | 23 |
| 営業外費用合計 | 234 | 190 |
| 経常利益 | 1,450 | 1,122 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 11 | 7 |
| 投資有価証券売却益 | 313 | — |
| その他 | — | 1 |
| 特別利益合計 | 324 | 8 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 5 | 0 |
| 固定資産除却損 | 11 | 14 |
| その他 | 0 | — |
| 特別損失合計 | 17 | 14 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,757 | 1,116 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 688 | 388 |
| 法人税等調整額 | △134 | △119 |
| 法人税等合計 | 554 | 268 |
| 四半期純利益 | 1,203 | 847 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 40 | 33 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,163 | 814 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日） | 当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日） |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,203 | 847 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △482 | △165 |
| 為替換算調整勘定 | △738 | △344 |
| その他の包括利益合計 | △1,220 | △509 |
| 四半期包括利益 | △17 | 338 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △29 | 321 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 11 | 17 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,757 | 1,116 |
| 減価償却費 | 1,181 | 1,347 |
| 受取利息及び受取配当金 | △95 | △91 |
| 支払利息 | 76 | 99 |
| 投資有価証券売却損益（△は益） | △313 | — |
| 固定資産売却益 | △11 | △7 |
| 固定資産除売却損 | 17 | 14 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △1 | △128 |
| 製品保証引当金の増減額（△は減少） | △6 | △43 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 562 | 908 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | 357 | 97 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △470 | △787 |
| 長期未払金の増減額（△は減少） | △10 | △26 |
| 退職給付に係る負債の増減額（△は減少） | 2 | 3 |
| その他 | △85 | △3 |
| 小計 | 2,960 | 2,500 |
| 利息及び配当金の受取額 | 60 | 91 |
| 利息の支払額 | △50 | △95 |
| 米国反トラスト法関連損失の支払額 | △288 | — |
| 訴訟和解金の支払額 | — | △92 |
| 法人税等の支払額又は還付額（△は支払） | △563 | △499 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,119 | 1,904 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △117 | △3 |
| 定期預金の払戻による収入 | 470 | 60 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,489 | △1,748 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 179 | 220 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △68 | △51 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △9 | △17 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 420 | — |
| 保険積立金の解約による収入 | 397 | — |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △183 |
| 差入保証金の回収による収入 | — | 453 |
| その他 | △10 | 28 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △228 | △1,241 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の増減額（△は減少） | △382 | △1,773 |
| 長期借入れによる収入 | 1,900 | 4,113 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,563 | △1,846 |
| 社債の発行による収入 | 296 | 395 |
| 社債の償還による支出 | △155 | △185 |
| 配当金の支払額 | △238 | △238 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △76 | △56 |
| リース債務の返済による支出 | △250 | △492 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △471 | △83 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △117 | △25 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 1,301 | 552 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,704 | 7,596 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 8,005 | 8,149 |

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）

当第2四半期連結会計期間より、株式の取得により子会社化したALPHA ADVANCED AUTOMOTIVE PARTS CO., LTDを連結の範囲に含めております。

（会計方針の変更）

国際財務報告基準（IFRS）を適用する在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用し、原則としてすべての借手としてのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上する方法に変更しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において有形固定資産の「その他（純額）」が760百万円、流動負債の「その他」が272百万円、固定負債の「その他」が563百万円それぞれ増加しております。

なお、この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|---------------------|---------------------|----------------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 自動車 部品事業 (日本) | 自動車 部品事業 (北米) | 自動車 部品事業 (アジア) | 自動車 部品事業 (欧州) | セキュリテ ィ機器事業 (日本) | セキュリテ ィ機器事業 (海外) | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,991 | 6,888 | 9,800 | 3,371 | 4,271 | 417 | 28,740 | — | 28,740 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1,716 | 78 | 388 | 344 | 16 | 1,770 | 4,315 | △4,315 | — |
| 計 | 5,708 | 6,966 | 10,188 | 3,715 | 4,287 | 2,188 | 33,055 | △4,315 | 28,740 |
| セグメント利益又は損失(△) | 194 | 499 | 490 | 14 | 517 | 160 | 1,877 | △406 | 1,471 |

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去55百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△461百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|---------------------|---------------------|----------------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 自動車 部品事業 (日本) | 自動車 部品事業 (北米) | 自動車 部品事業 (アジア) | 自動車 部品事業 (欧州) | セキュリテ ィ機器事業 (日本) | セキュリテ ィ機器事業 (海外) | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,310 | 7,030 | 9,149 | 5,866 | 4,487 | 504 | 30,349 | — | 30,349 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1,353 | 110 | 370 | 202 | 14 | 1,798 | 3,851 | △3,851 | — |
| 計 | 4,664 | 7,141 | 9,519 | 6,069 | 4,502 | 2,303 | 34,200 | △3,851 | 30,349 |
| セグメント利益又は損失(△) | △42 | 378 | 429 | △21 | 616 | 190 | 1,550 | △426 | 1,124 |

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去28百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△454百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来、「自動車部品事業（日本）」及び「セキュリティ機器（日本）」に配分していた当社の本社経費について、当社グループのグローバル化の進展に伴い、グループ全体の経営・管理活動を担うグローバル本社としての役割が増してきたことから、各報告セグメントの業績をより適切に把握するため、全社費用として区分しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前第3四半期連結会計期間より、株式取得したALT SAS、Société de Peinture de Pièces Plastiques SAS及びSPPP Slovakia s.r.o.を連結子会社として連結の範囲に含めております。これにより、暫定的に算定されたのれん1,615百万円を計上していましたが、取得原価の確定及び取得原価の配分が完了したことから、「自動車部品事業(欧州)」セグメントにおいて、1,074百万円に変動しております。